

～大阪企業家ミュージアムからのお知らせ～ 関西国際空港開港30年記念セミナーと 開港30年を振り返るパネル展示のご案内

1970年大阪万博が開かれて以降、新空港建設を実現しようと関西経済界の歴代リーダーが一丸となって取り組んできました。1994年9月に開港した関西国際空港は民活方式で建設され、日本初の完全24時間運用空港、世界初の完全人工島からなる海上空港となりました。同空港はその後2007年8月の第2滑走路の供用開始により、日本初の複数滑走路を持つ完全24時間運用可能な国際空港として成長を遂げ、昨年9月に開港30周年を迎えました。

開港後は地震や台風などの自然災害や約3年に及んだコロナ禍に見舞われるなか、国や関係自治体の支援や自助努力が結実し、国際物流、LCCの拠点空港として新たな役割を担っています。更に2019年には日本初のG20サミットの大阪開催、2025年には大阪・関西万博誘致・開催にも大きな役割を果たしてこられています。そこで今回のセミナーでは、関西エアポート(株)広域連携グループリーダーの木村絵里様をお迎えし、大阪・関西万博に向けて提供されてきた様々なサービス向上策やインバウンド対応、さらには万博閉幕後に描く関西エアポートの事業戦略の一端などをご紹介します。

また同セミナーに合わせて、開港30周年記念式典で披露された関西国際空港の歴史を振り返るパネルや、歴代大商会頭らが取り組んだ新空港開港までの四半世紀にわたる道のりをご紹介します。(パネル設置期間 11月26日～12月5日) この機会にぜひ大阪企業家ミュージアムにお立ち寄り下さい。



関西エアポートグループは関西エアポート株式会社を含む9社で構成されています。関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社とVINCI Airports(ヴァンシ・エアポート)を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港(KIX)および大阪国際空港(ITAMI)の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港(KOBE)の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。(上記紹介文、写真提供 関西エアポート様)

日 時: 記念セミナー開催11月27日(木)14時～15時30分 (パネル設置期間 11月26日～12月5日)

場 所: 大阪企業家ミュージアム会議室 (パネル展示はミュージアム内展示コーナー)

講 師: 関西エアポート(株) 海外本部・地域連携部 広域連携グループリーダー 木村 絵里氏

テーマ: 空港運営の民営化と3空港一体化により新たなステージへ

参加費: 無料(入館料500円必要) ただし大商会員は300円 (展示を見る場合も入館料要)

定 員: 講演会40名(先着順) 満席の場合のみご連絡させていただきます。

主 催: 大阪企業家ミュージアム、 協 力: 関西エアポート(株)

問合せ: 大阪商工会議所 大阪企業家ミュージアム (齋藤、阿部)

TEL:06-4964-7601/Fax:06-6264-6011

申込み: 下記申込書に必要事項をご記入のうえFAX:06-6264-6011でお申込みいただくか、
Web上よりご登録下さい(<https://www.kigyoka.jp/>)。受講票は発行致しません。

(FAX 06-6264-6011) 大阪商工会議所大阪企業家ミュージアム行
11月27日「関西国際空港開港30年記念セミナー」申込書

会社名

参加者名

所属・役職

連絡先 TEL

FAX

E-MAIL

*ご記入いただいた個人情報は、大阪商工会議所からの各種連絡、情報提供(E-MAIL による事業案内含む)のために利用させて頂く他、講師にも参加者名簿として配布致します。